

これまでの災害で、平常時における社会の課題が浮き彫りになってきました。例えば、意思決定の場に女性が少ないと女性の意見が反映されにくく、必要な支援が行き届かないことがあります。

また、性別による役割分担意識が根強いと特定の役割が片方の性別に偏ってしまいます。

そのため、日頃から男性と女性が共に責任を担いながら支え合う体制作りが必要です。男女双方の多様な視点を取り入れることで一人ひとりに必要な支援が届きやすくなり、防災力の向上にもつながります。



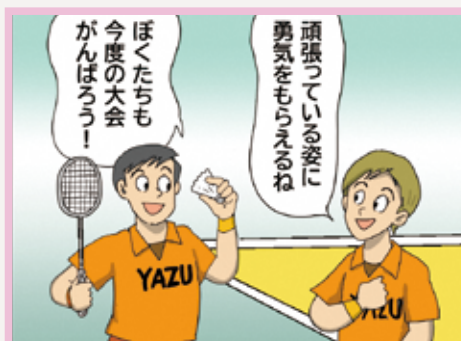
(令和6年(2024年)9月号/広報やす)

CASE 11

男女共同参画の視点からの防災

CASE 12

ジェンダー平等を目指したパリオリンピック



(令和6年(2024年)10月号/広報やす)

第33回夏季パリオリンピックはジェンダー平等を理念の一つに掲げており、史上初めて男性と女性の参加選手が同数となる数値上の男女平等が実現しました。

また、子どもを持つ選手への支援が近年課題に挙がっている中で、新たな試みとして選手村に初めて育児室が設けられました。

今回のオリンピックでの男女平等実現に向けた大きなステップを、継続的な変化へと繋げていくことが期待されています。